

増えていく女子た ちの温泉習慣 と ある温泉地帯の新 しいホテル街で

街の中、行き交う木々・・・・ポケット
タブレットはいたる場所に溢れている。

岩場のような、

そんな雰囲気に見えるスポットも多い。

規則的な模様が刻まれている地面の上、
大きなスクリーン、人たちの歩くスピードも速い。

スクリーンにはカルデラのような渦が
巻かれたくさんのハダカの情報が。

小さくなり女子たちは下着を穿き出す。

心はポケットの中と混ざり合いベッド
の感覚と同期して膨れていく。

山の西側の丘の上にはやくも大きな鉄塔が立った。

雨の中短時間の工事。

目などを使って外を見る。

それは変わっていないが、女子たちの習慣にかかわらず街は同じ景色。またタブレットを手にする。

太ももにそっと穿く。

列車で行ったことのある街周辺を思い
ながら画面に向き合う。

スワイプして下に流れるスクリーン、

・・・温泉習慣が主流になっているのはもはやトモダチ同士の間でもよくある日常話となっていて、

女子たちは自宅のシャワールームで当たり前のようにボディソープと格闘。

女子のリナミの浴室は色が混じりあった床である。

最近はシックなインテリアに凝っているが。

山沿いの看板に錆びたような文字で書かれていた。

錆びたその文字が消えかかったその時に山沿いに小さなズレが起こった。

本当のことと・・・・しがみついた絵文字はそのどちらにもある。

晴れた街の道路・・・・・・白い違和感のスクリーンは、観光のパンフレットを広げて大通りを歩く女子たちのファッションの中にもある。周囲は木の街角である。

女子たちは計画を立てる。

その温泉街は昔からあるものであった。

ずっとずっと昔の面影を残してあるが、
ホテルは新しいものが最近出来た。

（体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました）